

音楽 4年

教材名 「明るい歌声を ひびかせよう」

プログラミングに関する学習活動の分類

B 学習指導要領に例示されていないが、学習指導要領に示される各教科等の内容を指導する中で実施するもの

本時の目標

指導時数

音の選び方を工夫して、主旋律に合う音を選び、試行錯誤しながら即興的に副旋律をつくることができる。

全7時間

単元計画

- ①旋律の特徴を感じ取り、主な旋律を歌う。
- ②副次的な旋律を階名唱し、鍵盤ハーモニカで演奏する。
- ③男声と女声の歌声の掛け合いを感じ取って聴く。
- ④二人の歌声の掛け合いや重なりのおもしろさを感じ取りながら楽曲全体を聴き、想像したことを言葉で表す。
- ⑤旋律の音の動きや特徴を感じ取りながら、主な旋律を歌う。
- ⑥プログラミングソフトを使い、最後の4小節の旋律を作る。(本時)
- ⑦歌とリコーダーの旋律の重なり合う響きを感じ取りながら演奏する。

使用ソフト

scratch

準備物

ワークシート

実践の概要

この授業ではスクラッチを活用して音楽づくりをしました。スクラッチを使えばリズムや旋律をつくることができます。今回は「歌のにじ」の最後の4小節の旋律を副次的な和音の構成音でつくりました。2分音符や4分音符など、拍の長さや音階を数値化して入力し、いろいろな旋律をつくりました。

プログラム例、児童の活動の様子などの写真

成果と課題

- リコーダーの演奏が苦手な児童も積極的に取り組むことができた。
- 拍の長さを数値化することで音符のもつ意味の理解を深めることができた。
- リコーダーの技能を向上させる上で、実際に演奏する時間の確保が必要であった。